

XPass D2 GDB

設置ガイド

バージョン 1.00
日本語

JA 101.00.XPD2-GDB V1.00A

目次

安全にお使いいただくために	3
はじめに	5
部品.....	5
各部品の名前と機能.....	6
ケーブルとコネクタ	7
設置場所	8
ブラケットと製品の固定	8
ケーブル接続.....	10
電源装置の接続.....	10
RS-485 接続	10
Wiegand およびその他のケーブル接続	11
工場出荷時のデフォルト設定の復元	11
RS-485 のポーレートのリセット	11
製品仕様	12
寸法.....	13
FCC 準拠情報	14
付録.....	15
免責事項.....	15
著作権表示.....	15
オープンソースライセンス	15
MIT ライセンス	15

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、人身への危害や財産への損害を未然に防ぐために、以下の安全に関する指示に従ってください。



警告

誤った使い方をすると、重傷または死亡につながる可能性があります。

設置場所

本製品を、直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、埃やすずの多い場所に置かないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

本製品を、熱器具の近くなど高温になる場所に置かないでください。

- 過熱により火災または感電の原因となることがあります。

本製品を、乾燥した場所に設置してください。

- 湿気のある場所に設置すると、製品損傷または感電の原因となることがあります。

本製品を、電磁妨害のない場所に設置してください。

- 電磁妨害を受けると、製品損傷または感電の原因となることがあります。

本製品を、ご自分で設置または修理しないでください。

- 火災や感電の原因となり、人身障害を招く恐れがあります。
- ご自分で本製品を設置または修理したことにより本製品に損傷が生じた場合、無料の A/S サービスは受けられません。

お取り扱い

本製品に、水、飲料または薬品などの液体が入らないようにしてください。

- 火災、感電、製品損傷の原因となることがあります。



注意

誤った使い方をすると、軽傷または製品の損傷につながる可能性があります。

設置場所

電源ケーブルを人が通る場所に取り付けしないでください。

- 製品損傷または人身傷害を招く恐れがあります。

本製品を、磁石、テレビ、モニター（特に CRT モニター）、スピーカーなど強い磁気を発する物の近くに置かないでください。

- 製品の故障につながる恐れがあります。

本製品を野外に設置する場合は、囲いの中に設置することを推奨します。

複数のデバイスを設置する場合は、デバイス間に最低限の間隔を空けてください。

- 他のデバイスへの RF 性能が影響を受け、デバイスが通常どおりに動作しなくなる可能性があります。

お取り扱い

本製品を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

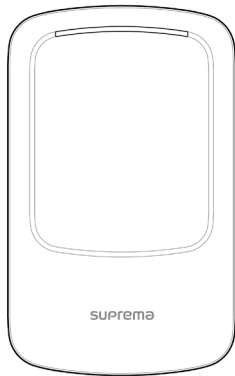
- 製品の故障につながる恐れがあります。

本製品を清掃する場合、水、ベンゼンまたはアルコール等を使用せずに、柔らかい乾いた布で製品を拭いてください。

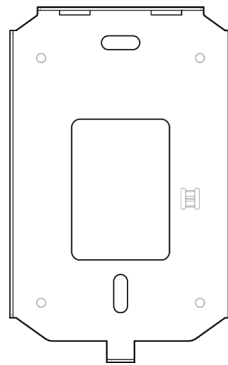
- 製品の故障につながる恐れがあります。

はじめに

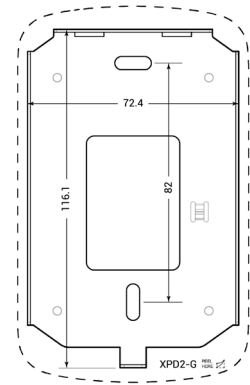
部品



XPass D2



壁用ブラケット



穴あけ用テンプレート



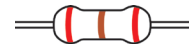
壁用固定ネジ x 2



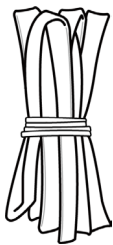
ブラケット固定ねじ
(星形)



PVC アンカー x 2



120 Ω 抵抗器



収縮チューブ



クイックガイド

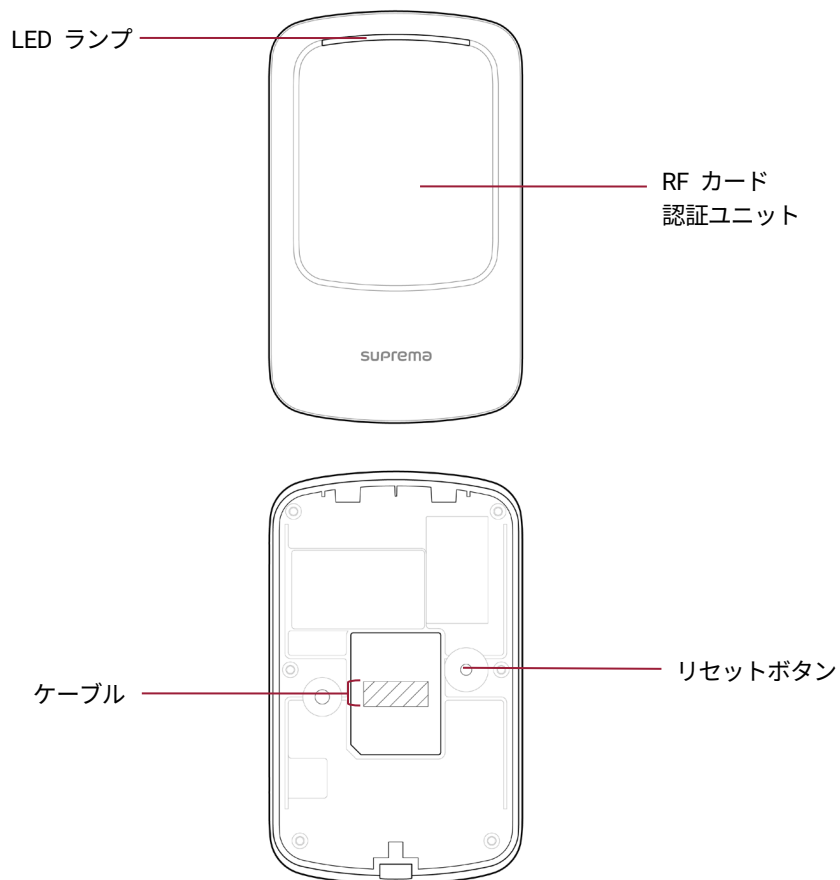


オープンソースの
ソフトウェアガイド

注意

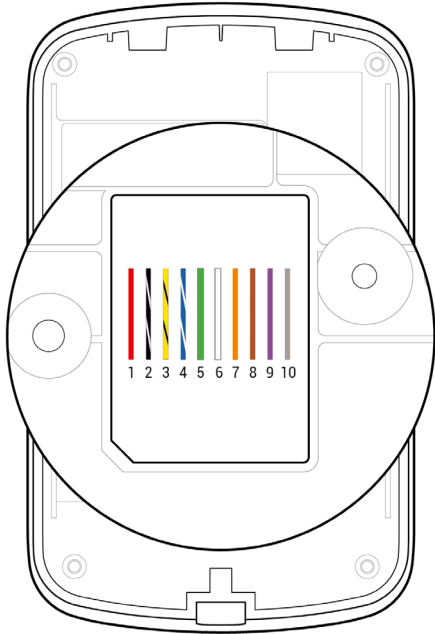
- 部品は設置環境によって異なる場合があります。

各部品の名前と機能



名前	説明
LED ランプ	デバイスの動作状態を LED ランプの色で示します。
RF カード認証ユニット	入退出用に RF カードを読み取ります。
リセットボタン	デバイスを初期化します。
ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル RS-485 ケーブル Wiegand 出力ケーブル LED 入力ケーブル ビープ音入力ケーブル タンパケーブル

ケーブルとコネクタ

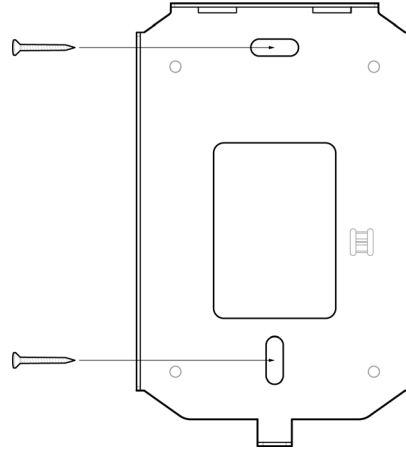


ピン	名前	色
1	PWR +VDC	赤
2	GND	黒 (白のストライプ)
3	485 TRXN	黄 (黒のストライプ)
4	485 TRXP	青 (白のストライプ)
5	WG D0	緑
6	WG D1	白
7	LED 赤	オレンジ
8	LED 緑	茶
9	ビープ音	紫
10	タンパー	グレー

設置場所

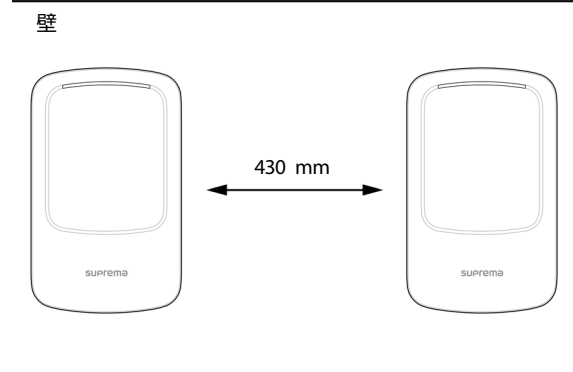
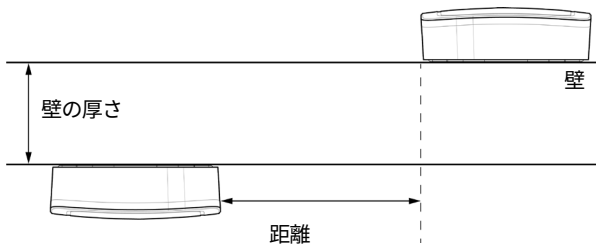
ブラケットと製品の固定

- 1 付属のドリル用テンプレートを使用して、ブラケットを取り付ける正しい位置を決定します。固定ねじをブラケットに通して、XPass D2 の取り付け位置にブラケットをしっかりと固定します。



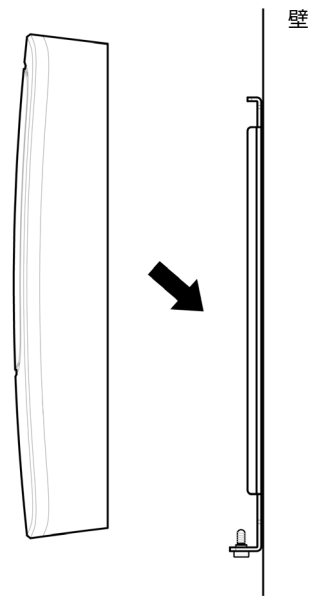
注意

- コンクリート壁に XPass D2 を設置する場合は、ドリルで穴を開け、PVC アンカーを挿入して、固定ねじで固定します。
- RF 干渉を回避するには、最小分離距離を維持する必要があります。

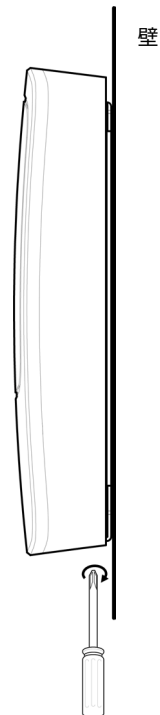


壁の厚さ	距離
100 mm	400 mm
120 mm	380 mm
150 mm	380 mm

2 XPass D2 を固定ブラケットに取り付けます。



3 製品固定ねじを回転させて、XPass D2 をブラケットに組み付けます。



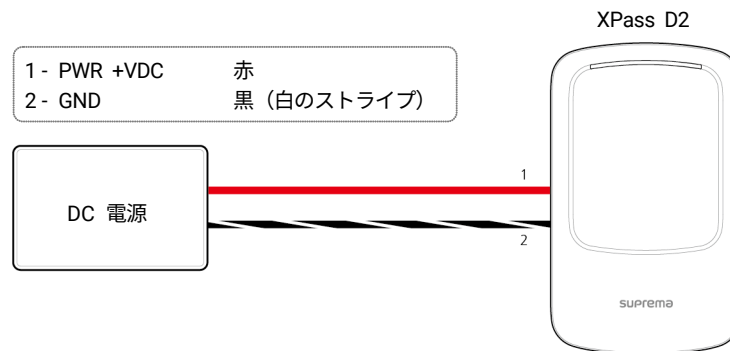
注意

- 製品をブラケットに組み付けるときには、セキュリティを強化するために、製品固定ねじの代わりに付属のブラケット固定ねじ（星形）を使用できます。

ケーブル接続

XPass D2 は、マスターデバイスまたは CoreStation に接続することで、RFID カードリーダーとして使用できます。

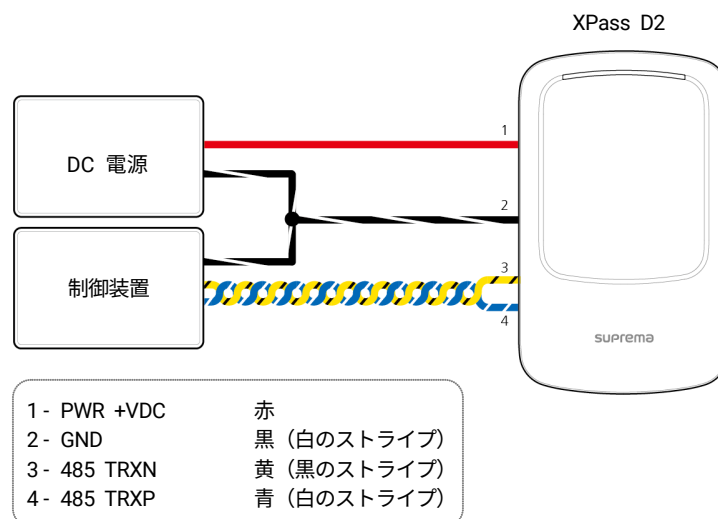
電源装置の接続



注意

- IEC/EN 60950-1 の認可を受けた 1,500 mA 以上の DC 12 V (± 10 %) 電源アダプタを使用します。別のデバイスを電源アダプタに接続して使用する場合は、端末と別のデバイスに必要な合計電力消費量以上の電流容量を備えたアダプタを使用してください。

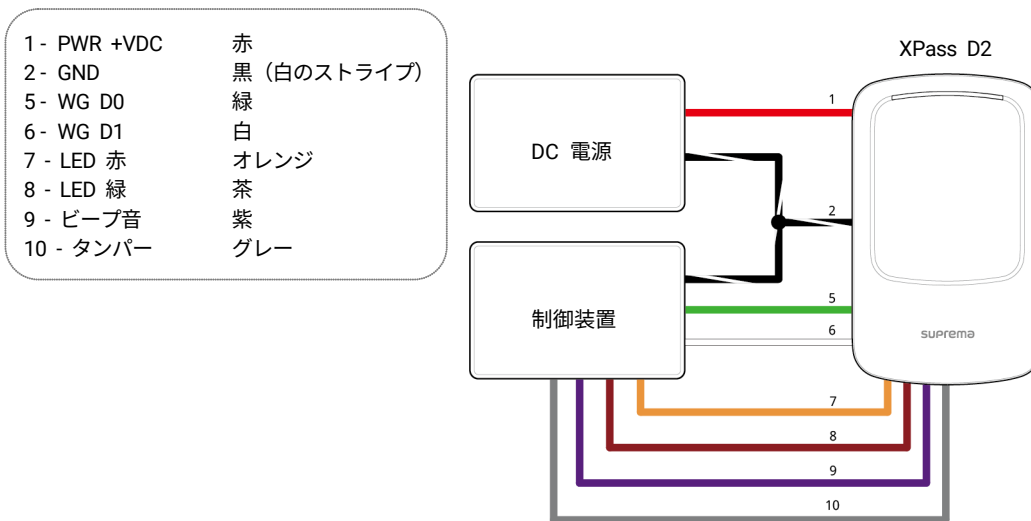
RS-485 接続



注意

- RS-485 ケーブルには、最大長が 1.2 km の AWG 24 ツイストペアを使用します。
- RS-485 のデジチェーンで接続する場合は、デジチェーン接続の両端に終端抵抗 (120 Ω) を接続してください。中央の線に接続すると、信号レベルが小さくなり、通信性能が低下します。必ずデジチェーン接続の両端に接続してください。

Wiegand およびその他のケーブル接続



工場出荷時のデフォルト設定の復元

デバイスに保存されているすべての設定をリセットします。

- 1 電源を入れます。
- 2 リセットボタンをすばやく 3 回押します。
- 3 黄色の LED が点滅している場合は、リセットボタンをもう一度押してください。

RS-485 のボーレートのリセット

- 1 電源を入れます。
- 2 リセットボタンを 2 秒以上押したままにします。デバイスがセットアップモードになると、LED が黄色に点滅します。
- 3 リセットボタンを押した回数に応じて、ボーレートが変更されます。ボーレートは LED の色で識別できます。

回数	ボーレート	LED の色
1	9600	シアン
2	19200	青
3	38400	マゼンタ
4	57600	白
5	115200	赤

- 4 上記で設定した色で、LED が 5 秒間点滅します。ボーレートが設定されると、ビープ音が鳴ります。

注意

- セットアップモードに変更した後リセットボタンを押さなかった場合、ボーレートは 115200 に設定されます。

製品仕様

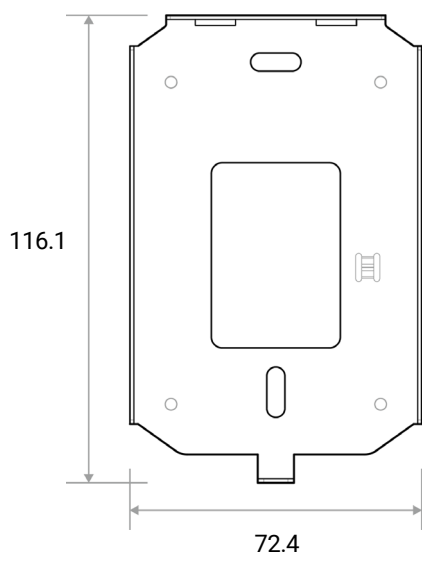
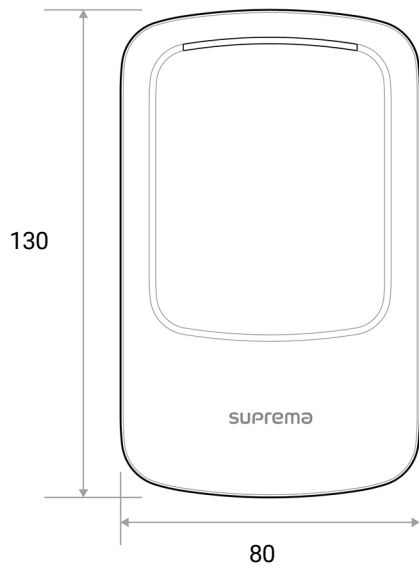
カテゴリ	機能	仕様
		XPD2-GDB
認証情報	LF カードオプション	EM
	HF カードオプション	MIFARE、MIFARE Plus、DESFire/EV1、FeliCa
	NFC カード	サポート対象
	BLE カード	サポート対象
	RF 読み取り範囲*	MIFARE/DESFire/EM : 50 mm、FeliCa : 30 mm
全般	CPU	80 MHz
	メモリ	256 KB Flash + 64 KB RAM
	LED	マルチカラー
	サウンド	マルチトーンブザー
	動作温度	-35 °C~65 °C
	保管温度	-40 °C~70 °C
	動作湿度	0%~95%、結露しないこと
	保管湿度	0%~95%、結露しないこと
	寸法 (W x H x D)	80 mm x 130 mm x 25 mm
	重量	デバイス : 140 g ブラケット : 52 g (ワッシャーとボルトを含む)
	IP 等級	IP65、IP67
	IK 等級	IK08
	証明書	CE、FCC、KC、RoHS、REACH、WEEE、SIG
インターフェイス	RS-485	1ch
	Wiegand	1ch
	LED	2ch
	ビープ音	1ch
	タンパー	サポート対象
電気関連	電源	電圧 : DC 12 V、電流 : 最大 400 mA * 12 VDC、1.5 A 電源を使用してください。
	LED、ビープ音入力 V _{IH}	最小 3 V 最大 5 V
	LED、ビープ音入力 V _{IL}	最大 1 V
	LED、ビープ音プルアップ抵抗	4.7 kΩ (入力ポートは 4.7 kΩ でプルアップされます。)
	Wiegand 出力 V _{OH}	最小 4.8 V
	Wiegand 出力 V _{OL}	最大 0.2 V
	Wiegand 出力プルアップ抵抗	1 kΩ の内部プルアップ

* RF 読み取り範囲は、設置環境によって異なります。

寸法

(単位：mm)

* 公差は ± 0.3 mm です。



FCC 準拠情報

このデバイスは、FCC 規則第 15 部に準拠しています。

動作は、次の 2 つの条件に従います。

- (1) このデバイスは、有害な電波干渉を引き起こしてはなりません。また、
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があります。

注意：この装置は、FCC 規則の第 15 部に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストおよび確認されています。これらの制限は、居住地域での設置において有害な電波干渉から適切に保護するためのものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な電波干渉が発生することがあります。ただし、特定の設置で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置のオフとオンを切り替えてみて、この装置によってラジオやテレビなどの受信に有害な電波干渉が発生することが判明した場合は、次の方法で電波干渉を解消してみてください。

- 受信アンテナの方向や場所を変更する。
- 装置と受信機の位置を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店や、ラジオまたはテレビの経験豊富な技術者に相談する。

製造元によって明示的に承認されていない変更を行った場合、FCC 規則に基づき、ユーザーの装置を操作する権限が無効になる場合があります。

この機器とそのアンテナを、他のアンテナや送信機と一緒に設置または操作しないでください。
RF 被曝の要件を満たすため、アンテナとこの機器の使用者の間隔を 20 cm 以上空ける必要があります。

付録

免責事項

- 本マニュアルの情報は、Suprema 製品に関して記述したものです。
- 使用権は、Suprema から保証された販売契約の条項および条件に含まれる製品にのみ認められます。本マニュアルに記載されていないその他の知的所有権については、ライセンス権が認められません。
- Suprema は、特定の目的に対する製品の適合性または商業性、あるいは Suprema 製品の販売または使用に関する特許、著作権、またはその他の知的所有権について保証せず、責任も負いません。
- 医療、人命救助、生命の維持に関連する状況下で Suprema 製品を使用しないでください。製品の故障により人が怪我をしたり、死亡したりする恐れがあります。上記の例に示す状況下で消費者が製品を使用しているときに事故が発生した場合、Suprema の従業員、子会社、支店、関連会社、および販売代理店は、消費者が製品設計や製造プロセスの欠点を発見し、これが重大な過失であると主張したとしても、弁護士費用を含む直接および間接のあらゆる関連費用について責任を負わず、弁済しないものとします。
- Suprema は、製品の安全性、機能、設計を向上させるために、製品のサイズと仕様を正式に通知することなく随時変更する場合があります。設計者は、「実装予定」または「未定義」と示されている機能や説明が随時変更される可能性があることを留意しておく必要があります。Suprema は、近い将来、このような機能や説明を実装または定義しますが、互換性の問題と、このような互換性の問題から生じるその他の一切の問題に対して責任を負いません。
- 製品を注文する前に最新の仕様を入手する場合は、Suprema の販売担当者または地域販売代理店を通じて Suprema に連絡してください。

著作権表示

本文書の著作権は Suprema に帰属します。その他の製品名、商標、登録商標の権利は、これらの権利を所有している各個人または組織に帰属します。

オープンソースライセンス

MIT ライセンス

以下の条件に従い、本ソフトウェアおよび関連文書のファイル（以下「ソフトウェア」）の複製を取得するすべての人に対し、ソフトウェアを無制限に扱うことを無償で許可します。これには、ソフトウェアの複製を使用、複写、変更、結合、掲載、配布、サブライセンス、および／または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利も無制限に含まれます。

上記の著作権表示および許諾表示を、本ソフトウェアのすべての複製または重要な部分に含めるものとします。

本ソフトウェアは「現状のまま」、明示、暗黙を問わず、保証なしに提供されます。保証には、商品性、特定の目的への適合性、および権利非侵害が含まれますが、それに限定されるものではありません。作成者または著作権者は、契約行為、不法行為、その他の行為にかかわらず、本ソフトウェアに起因または関連する、あるいは本ソフトウェアの使用またはその他の扱いによって生じる請求、損害、その他の義務について一切の責任を負いません。



suprema
BIOMETRICS & SECURITY

シュプリマ株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋4-21-3新橋東急ビル3階 オフィス#337

電話: 03-6895-7527 | Eメール: sales_jp@supremainc.com

©2019 Suprema, Inc. 本書に記載されている Suprema および Suprema 社の製品名および番号は、Suprema, Inc. の登録商標です。Suprema 社以外のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。製品の外観、ビルドステータスおよび/または仕様は、予告なく変更されることがあります。